

以下、本文-----

縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫に対する初発時および再発時の治療内容の実態調査

## 1. 研究の対象

2007年1月～2016年12月に縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫と診断され、下記の研究組織で化学療法を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

縦隔原発大細胞型B細胞性リンパ腫(PMBL)は悪性リンパ腫の中の数%で比較的めずらしい疾患です。現在初回に診断された方に対する治療法、再発・治療抵抗性であった方に対する治療ははっきりとは決まっていません。私たちは、すでに PMBL と診断され治療を受けた方を対象に実態調査を行い生存率、非再発生存率、奏効率、寛解率を調べそれらと関係のある予後因子、最適な治療法を検討します。さらに再発・治療抵抗性 PMBL に対する治療を調査し自家移植、同種移植を含めた治療法の成績を検討します。

方法としては各参加施設にアンケート調査票を配り PMBL の方の臨床経過、検査結果、治療内容などの診療内容を記載してもらいます。倫理審査委員会承認後～2021年3月31日にかけて情報を収集します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病期、採血・画像・病理・染色体を含む検査結果、治療内容、転帰 等

## 4. 外部への試料・情報の提供

当センターをデータセンターとしますが、各施設からのデータは匿名化し番号で管理します。対応表は、診断や治療が行われた各施設で保管・管理します。データは特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

## 5. 研究組織

大阪大学 clinical blood club

研究グループ代表者

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 金倉譲

研究グループ施設研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 柴山浩彦

NTT 西日本大阪病院 金義浩

様式第 1-5 (Ver. 29.3)

県立西宮病院 上田周二  
大手前病院 三井秀紀  
市立芦屋病院 西浦哲雄  
市立池田病院 森山康弘  
市立伊丹病院 徳嶺進洋  
市立堺病院 柴野賢  
市立吹田病院 富永信彦  
市立豊中病院 小杉智  
住友病院 菅原浩之  
日生病院 川上学  
市立箕面病院 畦西恭彦  
りんくう総合医療センター 烏野隆博  
八尾市立病院 服部英喜  
関西労災病院 橋本光司  
国立病院大阪医療センター 池田弘和  
医療法人 川崎病院 飯田正人  
川西市民病院 柴田 大  
大阪急性期総合医療センター 中川雅史

**6. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 血液内科 小池 翠

〒541-8567 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL:06-6945-1181(代表) PHS 6167

研究責任者：大阪国際がんセンター 血液内科 医師 小池 翠

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授 金倉讓

-----以上